

2020年11月26日

一般社団法人 日本船主協会

内藤会長コメント

IMO 第75回海洋環境保護委員会「外航既存船に対する条約改正等の承認」を歓迎

先週、IMO（国際海事機関）の第75回海洋環境保護委員会が終了しました。この会議では、温室効果ガス（GHG）削減対策の一環として既存船への新たな指標である EEXI（ENERGY EFFICIENCY EXISTING SHIP INDEX）規制を導入する MARPOL 条約等の改正が承認されました。

この指標は、日本の国土交通省が提案し、当協会環境関係者とも議論を重ねてきたもので、今回は、この EEXI 規制と欧州ほかが支持する中国提案の燃費実績の格付け制度を統合した形での承認ということになります。EEXI 規制は、主機の出力制限等により新造船と同レベルの燃費性能を義務化するものです。

わが国は、これまでも数々の提案を IMO に行っており、オピニオンリーダー的な役割を担っておりますが、今回の EEXI 規制の導入に対する承認にあたり、関係する国土交通省の皆様のご尽力に感謝の意を示すとともに、引き続き、斎藤海洋環境保護委員会議長のもと、来年6月に開催予定の第76回海洋環境保護委員会にて採択され、GHG 削減に向けた取り組みが加速されることを、日本の外航海運業界として期待いたします。

以上